

北京週報 *e* 刊

[japanese.beijingreview.com.cn](http://japanese.beijingreview.com.cn)

2011.3.1

3月号

# インフレは依然 経済最大の潜在的懸念



『北京週報』日本語版は1958年、故・周恩来総理の提案により創刊された海外向け週刊誌です。ネット版には中、英、日、仏、独の5カ国語版があります。

主管 中国外文出版發行事業局  
社長・編集長 王剛毅  
常務副編集長 江宛棣  
副社長 元文公  
副編集長 黄 衛 王燕娟 周建雄  
社長補佐 李振宙

編集統括 黄 衛  
編集委員会 黄 衛 張毓英 陳 焯  
胡 楠 呂 翎  
責任編集者 陳 焯  
編集・翻訳 夏祖芬 楊 莉 繆曉陽 勝又あや子  
記者 蘭辛珍 唐元愷 呂 翎  
陳 妍 繆曉陽 王文捷  
金多優 徐 蓓 曾文卉  
写真編集 石 剛  
レイアウト 盧一凡  
日本語監修 勝又あや子

北京週報ネット版編集部  
〒100037 中国北京市百万莊大街24号北京週報  
TEL 86-10-68326018 68996238  
FAX 86-10-68326628  
URL <http://japanese.beijingreview.com.cn/>  
E-mail [jp@bjreview.com.cn](mailto:jp@bjreview.com.cn)

編集室  
TEL 86-10-68996252  
北京週報北米支社  
記者 陳 文  
TEL/ FAX 1-201-792-0334  
E-mail [chenwenwendy@gmail.com](mailto:chenwenwendy@gmail.com)

国際コーディネーター 潘双琴  
法律顧問 岳 成  
京ICP備08005356号  
このウェブマガジンの著作権は北京週報社にあります。掲載された記事、写真の無断転載を禁じます。

CONTENTS 目次

4 フォトニュース

トップ記事

8 インフレは依然  
経済最大の  
潜在的懸念

中国と日本

>> P8



12 日本企業、中国で「人材争奪」

14 鑑真和上と梁思成が初対面

国際問題

18 スーダン南部の住民投票  
独立は福か？ 災いか？



>> P18

政治

21 専門家が「中央一号文書」を解説

経済

24 経済成長10・3%  
その意味するのは



>> P25

27 銀行業界、海外進出を加速

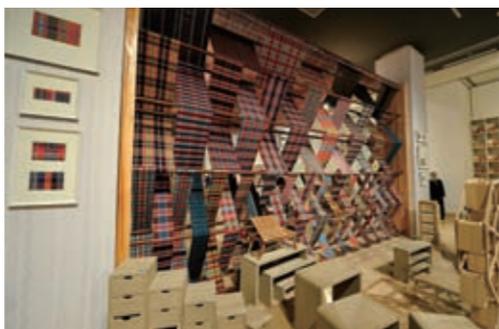
30 合弁証券業容拡大  
証券業界が対外開放加速

話題の人

35 潘魯生氏 手工芸による  
民族文化の伝承

カルチャー

38 文化の「空白」現象を  
考える



>> P36

社会

32 「タイガーマザー」論争  
どんな母親が優れているのか？



<< P33



△ 旧暦12月29日と30日にあたる2月1日と2日、胡錦濤国家主席は河北省保定市を訪れ、地元幹部・市民と共に新春を迎えた。胡主席は党中央、国務院、中央軍事委員会を代表して全党、全軍、全国各族人民に親しみを込めた新年の挨拶と素晴らしい新春の祝意を伝えた。(李学仁撮影)



△ 旧暦12月29日にあたる2月1日、温家宝総理は北京で中共中央と国務院の2011年春節（旧正月）祝賀会に出席した後、直接空港へ移動し、安徽省合肥市へ向かった。農民を訪問し、大別山革命聖地の経済・社会発展状況を視察し、地元幹部・庶民と共に春節を過ごした。(姚大偉撮影)

≫ 「魅力の北京」写真展が2月8日、東京都庁のロビーで開催された。中国や米国、日本、ドイツ、英国など世界各国の有名カメラマンの作品85枚が展示され、古都の風景や現代的な容貌、古くからの北京の生活など様々な角度から北京の都市の魅力を生き生きと伝えた。北京の美しさを凝縮した作品に、多くの来場者が見入っていた。  
(呉谷豊撮影)



≫ 中国人民銀行（中央銀行）は2月8日夜、9日より金融機関の金利を引き上げると発表した。今回の利上げにより、1年物の貸出金利は5.81%から6.06%、預金金利は2.75%から3.00%となった。(蒙鐘徳撮影)



北京の大使館区に位置する三里屯の元宵灯会には2月16日夜、多くの人を訪れていた。三里屯には外国人が多く住み、伝統的な灯会とは異なり、三里屯の灯会はより現代的で「洋風」な雰囲気を漂わせていた。  
(超琬微撮影)



ここ数年、山東省の周村古商城の知名度が高まり、「周村年越し祭」は中国国内で有名な行事となっている。2011年の春節には、インド、パキスタンなど20を超える国の留学生が周村を訪れ、素晴らしい大晦日を過ごした。(張紅霞撮影)



温家宝総理は1月20-27日に中南海で座談会を5回開き、「政府活動報告」と「第12次五カ年計画綱要」の各草案について意見を聞いた。座談会には各民主党派中央、全国工商業連合会、および無党派の担当者、教育界、科学技術界、文化界、衛生界、スポーツ界の代表、労働者、農民、学生など大衆の代表がそれぞれ出席した。(丁林撮影)



2月20日、四川省からのジャイアントパンダの「比力」と「仙女」が、中国ジャイアントパンダ保護研究センター雅安碧峰峽基地を出発し、上海を経由して21日に東京上野動物園に到着した。東京都と中国野生動物保護協会がパンダ保護研究協力プロジェクトに関する協定を結び、中国側は「比力」と「仙女」を東京都側に貸出し期間10年で提供することに同意した。(江宏景撮影)



北京市は2月16日、新しい「国八条」の不動産調整細則を発表した。同細則によると、北京市で住宅を持っていない同市戸籍以外の世帯が北京で不動産を購入する場合、連続5年以上の社会保険と個人所得税の納付証明を提出することが要求されている。(羅曉光撮影)

# インフレは依然 経済最大の潜在的懸念

本誌記者 繆曉陽



山西省運城市は市街区にある各大型スーパーマーケットで農民専門協同組合を通じて流通コストを減らし、安価の野菜を市民に供給している。写真はスーパーマーケットで野菜を買う市民（薛俊撮影）

中国人民銀行（中央銀行）は2月8日、金利引上げを決定。国務院は同月9日に常務会議を開催し、食糧生産の確保など10項目の措置を打ち出した。こうした政策の制定はいずれも2011年経済活動の最重要課題である「物価の安定」と深く関係する。

「10年の経済で最も意に沿わなかったのが物価だ」。国家统计局チーフエコノミストの姚景源氏によると、昨年初めのころはその年の消費者物価指数（CPI）の前年伸び率が3%を超すとは想像していなかったが、現時点では3・2と3・5%の間にあると見られる。しかも今年の物価上昇圧力も非常に強い。当面のCPI上昇の1つの特徴は食品価格の上昇であり、これは各人、とくに低所得層に打撃を与えるからだ。

中国社会科学院数量経済・技術経済研究所長の汪同三氏の指摘はより直接的であり、

「10年の経済で最も意に沿わなかったのが物価だ」。国家统计局チーフエコノミストの姚景源氏によると、昨年初めのころはその年の消費者物価指数（CPI）の前年伸び率が3%を超すとは想像していなかったが、現時点では3・2と3・5%の間にあると見られる。しかも今年の物価上昇圧力も非常に強い。当面のCPI上昇の1つの特徴は食品価格の上昇であり、これは各人、とくに低所得層に打撃を与えるからだ。

北京師範大学経済・工商管理学院教授、金融系主任の賀力平氏はCPIの変動について、「第1は、一部の外部で発生した、

る。「11年に中国が直面する最も切迫した、最も現実的な問題はインフレをいかに抑制するかだ」。

## 市民生活はインフレの試練を受けた

中国は10年にGDPで日本を追い抜いて、世界第2の経済大国となったが、一般市民にとっては、この世界第2という栄誉は、現実の幸福感とむしろ大きな差がある。

10年10月、杭州の鳳起自由市場で飲食業を営む市民が5リットル入り的大豆油を70個余り購入。値上がりを心配してのことだが、一部市民が大量に購入したことで、スーパーなどでは一部ブランドの食用油が品不足状態に。また、農産品価格が上昇したことから、多くの市民が自宅のベランダで植木鉢や発砲スチロールなどを利用して野菜を栽培するようになった。

物価の上がり下がりには常に庶民の心を突き動かし、インフレは人びとの消費の方法と投資の考え方に直接影響を及ぼしている。10年を振り返ると、生活や人の気持ちは物価が上下し、国が調整する中で複雑な様相を呈した。

農産品を主体とする生活必需品の値上がり、物価を上げさせている主因である。国家統計局が10年12月に発表したデータによれば、同年11月のCPIは前年比で5・1%増と、その年の記録を更新した。

## 多くの要素がインフレをもたらした

姚景源氏は、物価上昇の原因は主に4点あると見る。まず、輸入である。米国の大規模な通貨発行が国際的な主力商品の価格を引き上げ、その一方、中国は主力商品の大量輸入国であるため、輸入によるインフレは防ごうにも防ぐことができない。次に、通貨の過剰な発行である。09年の貸付残高は9兆元。この時に適度な金融緩和政策を講じていなければ、中国が率先して危機から脱することはなかっただろう。だが、そのため代価を払わなければならなかった。第3に、農業基盤が脆弱である。第4に、市場の秩序に問題があり、一部企業が独占的な利益を追求している。

興業銀行資金営業運営センターチーフエコノミストの魯政委氏は、今回のインフレにはそれなりの特殊性があると話す。労働者の賃金が上がるに伴い、過剰な生産能力が物価



2009年9月から、国際金価格は何度も新高値を更新したが、ゴールドアクセサリは依然として消費者に絶大な人気がある。写真は浙江省徳清県にある中国黄金社の店舗でゴールドネックレスを選ぶ消費者（倪立芳撮影）



綿、化学繊維、羊毛、蚕糸などの紡織原料の価格の大幅な上昇は、紡織企業に真っ先に影響を与えた。写真は浙江省諸暨市にある紡織会社で紡績作業をする労働者（新華社）

暫定的な要素がもたらす変動。第2は、人びとのインフレへの予想に影響を与えた後、再び社会経済におけるその他の経済的変数に影響を及ぼして持続的な上昇を実現する意外性のある変動の2つの部分に分類すべきだ」と主張する。

「中国の現在のインフレは、コスト押し上げ型のインフレだ」。汪同三氏はこう強調した上で、「この問題は恐らく改革開放30年来で初めて直面したものであり、過去に主に対応したのは需要けん引型のイン

### 中立金融政策はインフレ抑制にプラス

今年直面する可能性のある物価上昇圧力と資産価格の問題に対処するため、中央銀

フラだった。例えば90年代初めや03年のインフレ圧力は、いずれも需要のけん引がもたらしており、中国もこの種のインフレへの対応が主だった」と指摘。

中央财经大学中国銀行業研究センター主任の郭田勇氏は次のように話す。「金融政策では適度な調整を行う必要がある。その最大の意義は、政策が金融危機の影響から本格的に別れを告げてポスト金融危機の時代に入った時に、成長確保を最優先とした危機時代の政策が、構造

の調整と産業の転換を基本的に重要な意義とみなす常態的な管理に置かれることにある。金融政策の中立は緊縮的な金融政策とは異なり、中立はさらに今年の金融政策に相対して言えば引き締めであり、相対的な水準に属し、絶対的な水準の面で、金融政策はやはり経済成長を柔軟かつ多变的にサポートしなければならない。中国の今について言えば、インフレ圧力はあっても、経済はまだ過熱していない」。

### 物価の持続的な大幅上昇はあり得ず

姚景源氏は今年の状況について、物価の暴騰はあり得ないとの考えを示した。「7年連続しての豊作で、在庫も豊富だ。その一方で、工業製品は総体的にやや供給過剰状態にある」と指摘。

国務院発展研究センターマクロ経済研究部研究員の張立群氏は「中国の現在の实体经济全体は、工業消費品であれ、工業生産資材であれ、農産品も含め、いずれも需給は大体バランスが取れており、一部では供給過剰の状態もある。11年は食品や工業消費品、また工業生産資材も、価格の上昇率はそれほど高くはないだろう」と話す。

中国国際経済交流センター研究部マクロ経済処処長の王軍也氏は「11年について言えば、物価の水準が全面的かつ持続的に大幅に上昇する兆しは見えない」と強調。さらに、野菜など農産品価格の

農産品の価格の上昇によって、多くの市民が自宅のベランダで野菜を作るようになった。写真は自宅のベランダで栽培した野菜を収穫する安徽省合肥市の市民（楊曉原撮影）



上昇は周期的で短期的であり、国務院は16項目の物価安定推進策を講じたという。「こうした措置は将来、徐々に役割を発揮していくだろう」と強調する。

中国共産党中央政治局は2月21日会議を招集し、物価の基本的安定の維持をうたった。会議は「11年は『十二五』が始まる年であり、中国が発展に向け直面する情勢は依然として極めて複雑である。マクロ経済政策の連続性、安定性を保持するとともに、

対処性と柔軟性、有効性を向上させて、引き続き積極的な財政政策と安定した金融政策を実施する。経済の安定かつ比較的速い発展と経済構造の調整、インフレ予測の管理との関係を円滑に処理して、経済に大きな変動が生じるのを防止する」と強調。さらに、物価の総体的水準の基本的な安定を保持し、内需とくに住民の消費ニーズをさらに拡大するとともに、農業の基盤と地位を強固、強化すること、経済構造の戦略的調整の推進を加速する、としている。

# 日本企業 中国で「人材争奪」

陳言

日本の多くの多国籍企業はすでにこんな「任務」を推進し始めた。中国の人材を日本企業の経営の特徴を熟知した管理者に育てた後、こうした人材を東京、中国またはその他の国際都市に派遣して仕事をさせる。

現在、少なからぬ日本企業、とくに大企業で最先に行っているトレーニングが中国語であり、採用の重点は中国の留学生である。2010年以降、より鮮明となった変化は、多くの企業が思い切って中国で直接、新卒

日系企業は中国で人材募集説明会を開いている



近年、多くの日本企業は工場を生産コストの相対的に廉価なアジアのその他の国、とくに中国にシフトしてきた。日本の対外貿易の第一の大国はすでに米国ではなく、中国である。非常に多くの企業が、中国語を話し、アジアで役割を發揮できることを、社員募集の際の重要な条件に据え始めた。

衣料品企業のユニクロは10年、200人の社員を新規に採用したが、そのうち100人が外国人。11年は営業規模をさらに拡大し、600人を採用する計画だが、日本人と外国人は半数ずつとなる。

家電企業の国際化プロセスはさらに速い。パナソニックは2010年に1250人を採用。うち750人は国外で直接募集し、採用した。11年は1390人を募集する予定で、そのうちの1100人は「国際的人材」。言い換えれば、新社員の約80%が日本以外の国から来ることになる。

中国の学生のほうが「ハングリー精神」がある

現在、日本企業はより直接、中国の学生に視線を注いでいる。データによると、11年に中国の大学を卒業する学生は約700万人で、日本に比べ少なくとも10倍は多い。

中国の大学生は日本の同年代とは大きな違いがある。理科系の学生のほうが文科系よりずっと多く、しかも学生の大半は質の優れた外国語、とくに英語教育を受けている。また、中国は日本より競争がずっと激しく、小

都市や農村出身の学生が卒業生の中で大きな比率を占めている。「中国の学生のほうが日本の学生よりずっと『ハングリー精神』がある。彼らは大都市で生存していくため、とくに粘り強く辛抱強い」。NEC中国有限公司の幹部はこう話す。

これに比べ、すでに都市化プロセスを終えた日本は、教育面でより「ゆとり」を追求し、個人の特徴を發揮しており、誰にも大学に入り職業に就く機会がある。中日の学生の上述したような違いに、日本教育界は注意を呼び起こされ、日本の学生が中国に行つて交流する制度を導入し始めた。

以前は「降下幹部」、現在は本部で仕事

三菱商事のある幹部は日本企業と中国との関係の著しい変化について、このように総括した。以前はいずれも本社から中国に「降下した幹部」だったが、今では中国から優秀な社員を本社に派遣し仕事をさせるようになった。

だが、日本企業が西側の企業と異なるのは、非常に独特の企業文化と管理方式を有していることだ。採用した中国の学生にどのようなにして日本企業を熟知してもらおうかが、非常に重要な課題となっている。日立中国有限公司の佐々木良二副総経理は「日本企業には厳格な組織制度があり、これらは中国の教育システムでは十分に伝えられていないが、日本国内の社員教育訓練体制の中で用いられている」と話す。

日立グループ傘下の企業17社は10年、中国で大学卒業生360人を採用、人

の大学生や大学院生を募集するようになったことだ。

10年末、日本商会在中国で開催した企業人材採用会場で、記者はわざわざ東京から飛んで来た日本最大の通信企業、NTT人事部の幹部に出会った。その幹部は「英語を理解し、技術を理解している中国の卒業生」を探していると述べ、さらに「日本語ができるかどうかはまったく関係ない。英語を理解し、技術を持ってさえいれば、完全に日本人社員の待遇で、東京で仕事をしてもらう」と強調した。

当日、NTTの幹部は数人の中国留学生と英語で面接し、彼らの専門知識と英語力に非常に満足した。「中国の学生がわれわれのチームに入ってくれば、新鮮な血液がもたらされる。われわれのグローバル化のプロセスがさらに速まるだけでなく、チームの士気向上にもプラスとなる」と話した。

日本企業、日本の学生を「積極的に放棄」

とくに指摘するに値するのは、日本企業は日本で大学卒業生を採用できなかったから中国に来たのではなく、日本の学生を「積極的に放棄した」ことかも知れない。

日本の10年の大卒者の就職率は、11月の調査結果によると57.6%。日本政府が96年に関連する調査を実施して以来最低となった。深層的原因は、日本企業の人材に対する需要が変わったが、教育制度はむしろ変わっていないため、日本の教育と市場の需要の間にずれが生じたことだ。

数で09年224人、08年(276人)をそれぞれ大幅に上回った。新卒者は各企業で主に市場マーケティング、管理などの仕事に従事している。

中日間の貿易総額が3000億ドルに向かうにつれ、日本企業と中国の関係は今後、形式や内容の面で深層的な変化が生じるだろう。中国を「国際化」の重要な一部だと認め、中国から人材を直接招聘することが、重要な第一歩となるはずだ。

日本産業館内で接客マナートレーニングを受ける中国人スタッフ(任瓏撮影)



# 鑑真和上と梁思成が初対面

斎藤文男（南京大学日本語学部専攻）



筆者

中国・揚州市の大明寺に2010年11月、鑑真和上（688〜763年）が30年ぶりに「里帰り」した。上海・万博の日本館に展示されていた日本・奈良県の東大寺所有の和上木造坐像（1733年、国重要文化財）が、日本に帰国する前、故郷の大明寺に寄り、公開された。大明寺には中国の著名な建築家・梁思成（1901〜1972年）が設計した鑑真記念堂がある。梁思成の銅像は和上像が里帰りする1カ月前の昨年10月、大明寺境内に設置され、「2人」が初めて対面した。しかし、日本の報道メディアは、和上像の里帰りを華やかに伝えていたが、梁思成についてほとんど触れていなかったのは残念だった。

## ◇並々ならぬ鑑真和上の精神◇

鑑真和上像の里帰りは、唐招提寺の脱活乾漆（だつかつかんしつ）土や石膏で原型を作り、その上に麻布を数枚漆で塗り重ね、乾燥させて中の原型を抜く方法）坐像（8世紀、国宝）が、1980年4月に初めて里帰りして以来2回目になる。公開は11月26日から12月7日



鑑真和上の里帰り展が開かれた大明寺境内にある鑑真学院図書館

までの12日間と短い期間だったので、私は期末試験の準備や、授業の合い間を縫って揚州へ出掛けた。里帰りした鑑真和上像は大明寺境内に造られた鑑真学院図書館内のガラスケースの中に安置されていた。両脇に僧侶が立ち、写真撮影は禁止され、数メートル離れた場所から見

るだけだった。

1257年前、10年間の歳月をかけ、6回目の航海でやっと日本にたどり着いた鑑真和上の精神と日本への思いは、一体どのようなものであったのだろうか。海を越えた遙かあなたにある日本に赴かせた動機は何なのだろうか。そんなことを考えながら、ガラスケースの前にしばらく立ち止まっていた。

当時の中国人から見た日本は、盛唐の詩人・王維が阿倍仲麻呂に送った「秘書晁監（ちようかん）の日本に還るを送る」と題する詩の中に見られる。

「積水（せきすい）極むべからず 安（いづく）んぞ知らん滄海の東 九州何れの処（ところ）か遠からん 万里乘（じょう）ずるが若（ごと）し」

大陸の奥深くにある唐王朝の都・長安からみれば、海は地の果てである。「その海の向こうのさらに東の国ことなど、どうしてわかるだろうか」と案じている。

このような「恐怖」に満ちた海を超えて日本の島へ行こうと決意した鑑真和上の精神には、並々ならぬ強い意志があったのだらうと、和上の坐像を見ながら改めて感じた。

が、記念堂の中で目を閉じてゆったりとした坐像を見て、何か心が落ち着くような感じがした。日中の国交が回復してから5年近くたった。

記念堂の和上の姿を見て、33年前、癒されるようなほっとした気分を、今回もまた同じく体験することができた。私はそれほど宗教心があるわけではないが、記念堂内の和上の坐像を見ていると「日中の道をしっかりと守っていきなさい」と諭されているような気がしてきた。

## ◇30年間で訪中者140倍、訪日者は300倍◇

私が初訪中した1977年に中国を訪れた日本人は、年間2万3445人（日本の「外交青書」1978年版）だった。それから30年ほど経過した2008年には約345万人同2010年版と140倍あまりに増えている。中国から日本を訪れた人は77年には4039人しかいなかったが、08年には約121万人と300倍に急増している。これだけの人的交流があったのだから、相互理解はいつそう深まっているはずだろうが、最近反日デモ、嫌中デモが双方で行われ、領土問題や歴史認識問題など、あちこちでぎすぎすしたきしみ音をたてている。人の往来が数100倍に増えても、双方の理解が深まらないことを如実に示す数字といえる。

梁思成が日本人にはあまり知られていないのもその一つの表れなのだろう。鑑真和上像の2回目の里帰りについて、日本の報道メディアは比較的目立つ扱いをして



揚州・大明寺境内にある鑑真記念堂内の鑑真和上坐像

## ◇「日中の道」を諭す和上の姿◇

学校でまとまって見学に来た中国人の中学生らしい生徒たちは、ガラスケースの鑑真和上の姿をちらっと横目で見た後、足早に通り過ぎて行った。私も日本で50数年前、中学校の修学旅行で奈良県の唐招提寺を訪れたとき、鑑真和上にそれほどの関心があったわけではなかった。社会科学の歴史で習った事柄をおさらいする程度の認識しかなかった。もっとしっかりと記憶に留めておけばよかったと今更後悔しても仕方のないことである。

里帰りした和上像の姿をはっきりと見ることはできなかったが、私が初めて中国を訪れた33年前、鑑真記念堂の和上の坐像ははつきりと記憶にある。

1977年2月、日中農業農民交流協会訪中団の同行記者として初めて中国を訪れた。上海から入り、南京、西安、大寨、揚州、北京を訪問した。初めて見る中国に緊張と好奇心と連日の移動でかなり疲れた

いた。しかし、大明寺境内に設置された梁思成の銅像については、ほとんどのメディアが触れていなかった。梁思成は、清朝末期の啓蒙思想家・学者である梁啓超（1873〜1929年）の長男で、中国では著名な建築家であり、鑑真記念堂の設計者としても知られている。

昨年10月、記念堂の脇に設置された梁思成の銅像は、1940年代の生前の姿をもとに作られたものだという。眼鏡をかけてネクタイをした胸像は、遠くを優しく見つめているような眼差しだった。顔の表情は、自分で設計した記念堂の主と初対面し、心なしか面映いような感じがしているように見えた。

脇にあった案内版には中国語、英語、日本語、韓国語の4カ国語で、鑑真和上が「日本文化の恩人である」と触れたあと、記念堂については「梁思成が日本の唐招提寺の金堂の設計を参照に、1973年に着工した」と説明が書かれていた。

梁思成が日本人にあまり知られていないのは、日本のメディアがこのような貴重な2人の文化人の初対面を取り上げないからでもあるだろう。メディアの関係者すらも知らないのか。知っていても何かの理由があって意図的にニュースからはずしたのだろうか。いずれにしても貴重な出会いのニュースが報道されなかったのは、日中文化交流の歴史の中で残念なことだった。

鑑真和上像が揚州市の大明寺に2010年11月、30年ぶりに「里帰り」したとき、境内の鑑真記念堂を設計した梁思成と和上が初対面となったことを報道した日本のメディアはほとんどな

鑑真記念堂脇に設置された  
梁思成の銅像

かった。梁思成は銅像を一度は受け入れ姿勢をみせた奈良県も、反対の声に押されるようにして計画を撤回してしまつた。「歴史的事実がはっきりしない」との理由のようだが、メディアも行政側も史実を解明して、日中の文化交流に役立てようとする積極的な動きが見られないのはなぜなのだろうか。

### ◇頓挫した梁思成銅像の設置◇

梁思成は第二次世界大戦中、奈良と京都を空爆しないよう米軍に進言して、古都の文化財を守つた、とされることから、「平城遷都1300年祭」の関連イベントとして奈良県に寄贈され、建立する予定になっていた。銅像が完成した昨年6月、北京で開かれた披露式典に窪田修・奈良県副知事が出席し、「梁先生は奈良県を守ってくれた恩人」と感謝の言葉を述べていた。

しかし、空爆を回避して文化財を守つたという歴史的事実が明確でない、という意見が奈良県当局に寄せられ、寄贈に反対する声が出てきた。

その種の資料を整理しておくことや、事前に目を通しておくことも必要だ。和上像の里帰りは事前に予定されていたことでもあり、その時間は十分にあつたはずだ。

とすれば、鑑真記念堂の石灯籠についても、3年前の関連した事実についても気が付くはずである。

### ◇互いに照り映える一対の石灯籠◇

鑑真記念堂前にある石灯籠は、1980年に鑑真和上像が初めて里帰りした時、唐招提寺から寄贈されたものである。27年後の2007年4月、温家宝首相が日本の国会で演説した際、この石灯籠について触れたことがある。

温家宝首相は演説で、石灯籠が唐招提寺から贈られたものであると前置きし、「この石灯籠は日本の唐招提寺にあるもう一つの石灯籠と1組になっています」と、右手人差し指を立てて、一対であることを強調した。そして「この1組の灯籠は今なお消えることなく燃え続け、はるか遠くから互いに照り映え、中日両国人民の子々孫々にわたる友好の明るい将来を象徴しています」と語り、議場から大きな拍手が起きた。

温家宝首相の日本での演説は、中国でも生中継され、その後この石灯籠を見に来る人たちが増え、日中文化交流の親密さを確認した人たちが多かつた。石灯籠の脇には、温家宝首相の言葉が付け加えられ、灯籠の中にある小さな明かりは30年間燃え続けている。炎はそれほど明るくはないが、揺れ動く日中関係を底辺で支えるよう

このため、同県の荒井正吾知事も8月の記者会見で、「梁思成さんについては、中国国内とともに、京都、鎌倉、奈良への空爆を回避してほしいと、当時の在国米軍に進言したという証言をされている人がいることは認識している。結果的にそれが奈良への爆撃回避につながったかどうかは、県としては確たることは言えるわけではない」と述べ、銅像の受け入れを慎重に検討することを表明

4カ国語で書かれた鑑真和上と梁思成  
について説明する立て札

していた。その結果、昨年暮れになって銅像の受け入れを断念し、奈良県文化会館の敷地に銅像を設置する計画も白紙になってしまった。

銅像の設置については、2008年に中国側が奈良県に銅像の寄贈を申し入れ、日本画家の平山郁夫さんらが顕彰会を設立して、寄付金を募って検討してきたが、「日中関係の悪化などもあり、最終的に顕彰会

に一貫して消えることはない。

鑑真和上が日本側の要請に応じ、徒日して唐招提寺を建立し戒律を伝えるとともに、さまざまな中国の文化を日本に紹介した。梁思成は唐招提寺を模して設計し、鑑真記念堂が建てられ、鑑真の記録を後世に伝えた。現代に至り、唐招提寺から石灯籠が記念堂に贈られ、一対の灯籠に火がともされ燃え続く。それを中国の首相が日本の国会で演説して紹介する。灯籠の明かりは小さいが、連綿と続く日中文化交流を象徴するように燃え続ける。長い交流の一つの出来事として和上像の30年ぶりの里帰りがあり、梁思成との初対面があつた。流れる歴史の一コマとして捉えれば、2人の初対面は、記録に残すに値する大きなニュース価値があつたのではないだろうか。

### ◇文化に対する国境を越えた精神◇

慌ただしい揚州訪問であつたが、今回、揚州市文物局長で揚州博物館長でもある顧風さんに、17年ぶりで再会することのできたのは嬉しい収穫だった。顧風さんとは、私が毎日新聞の福島県いわき支局（当時）に勤務していた時、初めて知り合った。

1993年、いわき市博物館で「揚州八怪展」が開催され、作品とともに顧風さんがいわき市を訪れていた。揚州八怪の作品が中国から搬出されて、海外で展示されるのはいわき市が初めてだった。清朝に現れ、自由奔放な画法が当時としては、ヌーベルバークと

鑑真記念堂前にある石灯籠脇に付け  
られた温家宝首相演説の言葉

が断念、寄付金約200万円の返還を始めた」（2010年12月26日、読売新聞）という。

ふくらみかけた文化交流の蕾が、途中で頓挫してしまうのは残念だ。「史実が明確でない」というのなら、確認すれば済むことだ。「地図に印をつけて爆撃を回避しよう米軍に進言した」という証言もあるのだから、その証言を検証すればいい。あるいは県が米軍関係者に調査してその地図を探せばいい。県と中国側が共同調査研究委員会などを組織して、史実の解明にあたる方法もあるのではないか。その結果、史実を証明するものが出て来なかった、との結論に達してから、銅像の設置を取りやめることにしても遅くはない。

北京で開かれた梁思成の銅像披露式典に副知事を派遣しながら、奈良、京都を空爆から守つたとするのを「県としては確たることは言えない」まま、放置してしまうのは、なんとも中途半端で残念なことだ。「1300年祭」の行事の中で、60数年前の事実を解明することは、その気になればできないことではないと思う。

メディア側の報道も、和上の里帰りを表面的に伝えるだけでなく、迎える地元市民の歓迎ぶりや反響など全体像をとらえて報道してほしい。梁思成についても、事前に史実を調査して和上の里帰りと合わせて報道すれば、日中文化交流に貢献した2人の足跡もより鮮明になると思う。どのような報道でも、事実関係の取材をする前に、関連する事柄を前もって「予習取材」しておくことは当然のことだ。突発的に発生する事件、事故、災害などでも、日ごろから

顧風さんは鑑真和上像の里帰りでも、地元で迎える側の関係者として忙しかつたが、市政府や全市民あげて歓迎した、という。鑑真和上と梁思成について尋ねると、「2人は文化に対して国境を越えた精神の持ち主だった」と評価した。自国の文化だけが栄えればよいというのではなく、相手の文化を尊重しながらともに発展しようという考えなのである。

鑑真和上は、中国国内だけでなく、東の陸のはてのそのまたずっと遠くにある島国の文化に思いを馳せ、日本で生まれた梁思成も、奈良や京都の建築物に中国・唐時代の面影を偲んでいたのかもしれない。2人の思想は現代の国際化や相互理解に通じる精神でもあると思う。（写真はすべて筆者写す）

# スーダン南部の住民投票 独立は福か？ 災いか？

王京烈（中国社会科学院西アジア・アフリカ研究所中東研究室主任）

2011年2月7日、スーダン南部住民投票委員会はハルツームで南部独立の是非を問う住民投票の最終結果を正式に発表した。投票の結果、98・83%の投票者が南部地区をスーダンから分離することを支持した。これより前、スーダンのバシル大統領は大統領令を出し、スーダン南部住民投票の結果を承認し受け入れると発表していた。住民投票の結果からして、スーダン南部がスーダンから分離して新しい国家実体となることはほぼ間違いないようだ。しかしスーダン（スーダン南部を含む）は今後、戦乱の収束、安定の実現と社会経済発展の加速、繁栄の実現とその享受をベースにした上で、より普遍的な民主を実現することができるのだろうか？

## 米国など西側諸国の影響

スーダンは独立前から植民地主義統治者に分裂統治され、南部と北部の溝が深まっていた。スーダン独立後、米国など西側諸国はスーダンの民族主義政権を好まなかったため、南部の「分離運動」を長期にわたって支援してきた。これがスーダンの長期内戦の重要な要因であり、それによってスー



2011年2月7日、スーダン南部住民投票委員会は住民投票結果を正式に発表した。写真はハルツームで行われた記者会見会場で抱き合うスーダン南部の女性（新華社）

立主権国家として承認すると発表した。

## 分離主義のマイナス影響

注目すべきは、南スーダンの分離がスーダンの政治版図を変えるだけでなく、もともと不安定だったアフリカ情勢と、各国に存在する「国境を跨ぐ民族」や「部族間対立」などの問題にマイナスの影響を与えるかもしれないことだ。

こうした分離主義のマイナス影響はスーダンの民族国家建設にも引き続き影響を与えるだろう。南スーダンの分離はダルフル地区とアビエイ地区の部族間対立と衝突を刺激し、新たな分離主義問題へと発展する可能性がある。スーダン政府はこの問題に真剣に対応しなければならぬ。

複雑な社会的・歴史的原因（西側大国の干渉と影響、スーダン内部の複雑な宗教間・部族間対立、経済発展の地域格差など）により、スーダンは1956年の独立後50年の長きに及ぶ激動に陥り、その間40年にわたる二度の内戦（第一次内戦は1955～1972年、第二次内戦は1983～2005年）を経験した。スーダンはアフリカ大陸で内戦が最も長く続いた国である。長期にわたる激動と戦乱はスーダンの社会経済発展と民族国家建設に深刻な影響を及ぼした。

長期間にわたって、スーダンは国連から「後発開発途上国」の1つに定められていた。安定を実現した上で、いかにして経済発展を加速して貧困を脱し、国民がより多くの実益を得られるようにし、それによって民族の結集力をさらに高め、民族国家を強化する

か。これがスーダンの当面の急務である。

## 南スーダンが直面する挑戦

スーダン南部の各勢力はすでに独立国家樹立のための準備を進めている。しかしスーダン南部の分離で既存のすべての問題を解決することはできず、逆に南スーダンは社会経済発展、民族国家建設における挑戦に直面することになる。それは次のような一連の問題である。

①いかにしてスーダンとの関係を処理するか。スーダンの南部と北部の間には社会経済発展、文化などの格差が存在しているが、南北間のつながりは長い歴史があり、経済発展における依存関係は一度の「住民投票」で断ち切れるものではない。南北境界線の確定、国民の認定、ナイル川の水量配分、石油収入配分など多くの問題について、双方は移行期間内に交渉し解決しなければならぬ。スーダン南部の石油産出量はスーダン国内の70%を占め、南部自治政府の財政収入の98%は石油によるものだ。しかし石油輸出用パイプライン、いくつかの重要な石油精製工場は北部にある。石油は双方の争いの種である一方で、継続的協力を促す契機でもある。

②社会経済発展の促進。スーダン南部が分離後に足元を固められるかどうかは、その経済活力と経済発展にかかっている。スーダンは世界の後発開発途上国の1つであるが、南部は北部よりさらに立ち遅れており、ほとんど工業はなく、インフラも貧弱で、交通も未発達だ。スーダン南部は広大な土地と比較的豊かな水資源を持ちながら、深刻な食糧不

2011年2月7日、スーダン南部住民投票委員会はハルツームで南部独立の是非を問う住民投票の最終結果を正式に発表した。投票の結果、98・83%の投票者が南部地区をスーダンから分離することを支持した。これより前、スーダンのバシル大統領は大統領令を出し、スーダン南部住民投票の結果を承認し受け入れると発表していた。住民投票の結果からして、スーダン南部がスーダンから分離して新しい国家実体となることはほぼ間違いないようだ。しかしスーダン（スーダン南部を含む）は今後、戦乱の収束、安定の実現と社会経済発展の加速、繁栄の実現とその享受をベースにした上で、より普遍的な民主を実現することができるのだろうか？

スーダンは独立前から植民地主義統治者に分裂統治され、南部と北部の溝が深まっていた。スーダン独立後、米国など西側諸国はスーダンの民族主義政権を好まなかったため、南部の「分離運動」を長期にわたって支援してきた。これがスーダンの長期内戦の重要な要因であり、それによってスー

注目すべきは、南スーダンの分離がスーダンの政治版図を変えるだけでなく、もともと不安定だったアフリカ情勢と、各国に存在する「国境を跨ぐ民族」や「部族間対立」などの問題にマイナスの影響を与えるかもしれないことだ。

複雑な社会的・歴史的原因（西側大国の干渉と影響、スーダン内部の複雑な宗教間・部族間対立、経済発展の地域格差など）により、スーダンは1956年の独立後50年の長きに及ぶ激動に陥り、その間40年にわたる二度の内戦（第一次内戦は1955～1972年、第二次内戦は1983～2005年）を経験した。スーダンはアフリカ大陸で内戦が最も長く続いた国である。長期にわたる激動と戦乱はスーダンの社会経済発展と民族国家建設に深刻な影響を及ぼした。

長期間にわたって、スーダンは国連から「後発開発途上国」の1つに定められていた。安定を実現した上で、いかにして経済発展を加速して貧困を脱し、国民がより多くの実益を得られるようにし、それによって民族の結集力をさらに高め、民族国家を強化する

足、劣った教育施設、高い文盲率などの問題に直面している。分離後、南部はアフリカ大陸の最貧困地域となるだろう。

③南スーダンの政治結集力。スーダン南部は党派が多い。現在最大の勢力を持つのはスーダン人民解放運動で、そのほか比較的重要なものには、民主変化のためのスーダン人民解放運動、統一民主戦線、スーダン・アフリカ民族同盟、南スーダン政党連合、南スーダン民主戦線、南スーダン民主フォーラム、憲章民主党、スーダン全国労働者党などがある。上記の政党、政治組織はかつて内戦や分離を指す戦いでは団結して北部と戦ったが、新しい情勢下で、「分離」の成果を分かち合い自らのためにより多くの利益を求めるときになっても、まだ一致団結することができるだろうか？

④複雑な種族間・宗教教派間の対立。スーダンは多民族、多宗教が共存する国であり、19種族、600近くの部落がある。イスラム教徒が70%、原始部落宗教と拝物教の信者が25%、キリスト教徒が5%いる。スーダン南部には500余りの部落があり、ほとんどの人がその土地の伝統的宗教を信じている。キリスト教徒は南部人口の5分の1以下だが、南部の自治政府を主導し西側諸国の支援を受けている。部落間・教派間の対立をどう解決するかは、

スーダン南部の前途と命運にかかわってくる。

### 中国とスーダン

中国とスーダンの協力は南南協力の模範である。国外の多くのメディアは急速に発展する中国経済に触れる際、「中国モデル」と



スーダン北部から続々と帰郷する南部出身者たち（新華社）

いう言葉をよく使うが、実は国際関係領域でも中国は他国との付き合いの中で「中国モデル」、つまり相互尊重、互恵互利の協力関係モデルを築き上げている。こうしたモデルに発展の基礎があり、強い生命力と明るい前途があることは、歴史がすでに証明している。

経済総量で見ると、現在中国はすでに世界第二の経済体だが、依然として発展途上国であり、特に西部の発展はまだ比較的に立ち遅れている。そのため、中国と中東、アフリカ諸国との協力関係は互恵互利でなければならず、いつも援助型のものではあり得ない。しかし中国が持つハイテク・ニューテック、強大な社会生産能力、製品価格優位性といった多くの要素は、中国と中東、アフリカ諸国との経済貿易協力においても大きな相互補完性をもたらしている。

特に指摘しておきたいのは、中国は外交や協力においてこれまでいかなる政治条件を付けたこともなければ、他国の内政に干渉したこともない、ということだ。この点が西側大国とは根本的に異なっている。帝国主義と植民地主義の抑圧を脱して独立を遂げた発展途上国が政治的独立と経済発展を維持する過程で求めるのは、当然ながら「新たな主人」（宗主国）ではなく、発展しつつあるパートナーだ。そうであるならば、現在世界で最も急速に発展している途上国であり、相互尊重と互恵互利の協力モデルを一貫して主張してきた中国は、当然発展途上国の発展プロセスにおけるパートナーとしてまたとない選択肢となるだろう。したがって、今後中国とスーダン、南スーダンとの間に友好的な協力関係が続くと信じるには理由があるのだ。

## 専門家が

# 「中央一号文書」を解説

1月29日に発表された『水利改革の発展加速に関する中共中央、國務院の決定』は、新世紀に入って以来、中央が重視してきた「三農」（農村、農業、農民）に関する8番目の「一号文書」であり、新中国が成立して62年来、中央文書として初めて水利事業に対するの全面配備に言及したのもであった。国家の関連部門委員会の責任者や専門家などの権威は「一号文書」の「水利に関する注目点」の解説を行った。

## 新戦略の位置づけ

### 「国家の安全」

一号文書では、水利は現代の農業建設に必要な不可欠な必須条件であり、経済社会の発展において何ものにも替え難い基礎的な支えであり、生態環境改善と切り離すことのできない保障システムでもある、としている。

水利部部長の陳雷氏は、これは中国共



豪雨の影響を受け、江西省都昌県左里鎮の1.97万ムー（約1320ヘクタール）の早稲栽培を行う農田が水没。農家の人びとは損害を最小限にとどめようと懸命に収穫する（2010年7月24日周科撮影）

産党の重要文書の中でも初めて、水利が「強い公益性、インフラ性、戦略性を備えている」ということを明確に打ち出し、「水利の改革と発展を急ぐことは、洪水防止、安全な給水、安定した食糧生産の確保にかかわるだけでなく、経済の安定と生態の安全、国家の安全にもかかわる」ことを初めて打ち出したものである、と話す。

中央農村工作指導グループ弁公室副主任の唐仁健氏によると、水利の重要性を国家の安全というレベルにまで引き上げたことが、この文書の目玉だという。水利に対する新戦略の位置づけが決まっただけで、公共財政がなぜ水利を投資の重点としたのか、また水利発展はなぜ公共財政に頼っているのか、ということが明確になる。

## 食糧の安全

### 今以上に「水利保障」頼りに

一号文書では「水利を国のインフラ建設の中の優先分野とし、農田の水利を農村でのインフラ設備建設における重点任务とする」と明示されており、大規模な農田の水利建設が必要であり、5年から10年という歳月と努力を積み重ね、立ち遅れた水利建設を根本的なところから変えていかなければならず、ベースとして大型の灌漑区や重点中型灌漑区継続建設と節水改造を完成させる必要があると強調されている。

減災システム」の整備は、災害の発生を根本的に減らし、災害による影響を軽減するのに有利となるといえる。

## 資源管理

### 最も厳格な「三つのレッドライン」

文書では、2020年までに全国の年間用水総量を6700億立方メートル以内におさえ、都市部と農村部の給水保証率を向上させ、国内総生産（GDP）と工業増加値1万元あたりの用水量を減らし、都市部と農村部住民の飲料水の安全を全面的に保障する、としている。

上述の目標を実現するために、文書では水資源に関する厳格な管理指標として「3つのレッドライン」が定められている。まず1つ目は水資源の開発と利用を管理するレッドライン、2つ目は効率的な水資源の使用を管理するレッドライン、3つ目は水機能区の汚染排出を制限するレッドラインである。一号文書では更に、県クラス以上の政府の主要責任者が、管轄行政区域の水資源管理と保護作業に関するすべての責任を負うことが明確にされている。

唐仁健氏は、「絶対にこのような制限がなければいけない」と述べ、また、これと関連して、用水総量管理制度、用水効率管理制度、水機能区の汚染排出制限制度といった3つの制度を確立する必要があるとしている。

中央農村工作指導グループの副グループ長で、弁公室主任の陳錫文氏は次のように話す。2010年の中国の食糧生産量は5億4910万トンに上り、全体的にみると、中国の食糧総生産量は消費量を大幅に上回っている。大規模な農田の水利建設は、灌漑面積と作付面積の拡大、食糧生産量の増加に有利である。特に1990年代から、中国の食糧生産地区の中心はすでに南部から北部地区へと移ってきたが、新しい食糧生産地区における農田の水利は早急な対応ができておらず、こういった地方の農田の水利建設を強化することが、中国の食糧の安全を今以上に保障することになるのである。

## 水利建設

### 10年間で4兆元を投じる

公共財政はいかにして水利投資を確保するのか？一号文書では今後の10年で、全社会水利の年間平均投資比を2010年の倍にするとしている。

陳錫文氏によれば、2010年の中国の水利への投資金額は2000億元で、その倍といえばすなわち4000億元であり、将来的には10年間で水利への投資額は4兆元に達するという。

一号文書ではさらに、各レベル財政の水利への投資総額と増加幅を明確に増加させ、中央と地方財政による水利専用投資金を大幅に増加させ、土地譲渡による収益のうちの10%を使って農田の水利建設を行い、新たに増えた建設用地の

土地使用を有料にするなど、土地整備資金の総合的な効果利益を十分に生かすことが提起された。

## 水害を根治

### 2020年には「洪水防止・干ばつ対処・減災システム」を整備

一号文書では、2020年までに「洪水防止・干ばつ対処・減災システム」を整備し、重点都市と洪水防止保護地区の洪水防止能力をしっかりと向上させ、干ばつに対処できる能力を強化する。また「十二五」（第12次五年計画）期間中には、重点中小河流の河川整備、小型のダムなどの全面的な補強、洪水災害が発生しやすい地域の早期警報システムの建設を完成させることが指摘された。

国家洪水・干ばつ防止対策総指揮部の統計によると、2010年、全国の437カ所の河川で特大洪水が発生し、冠水による被害人口は2億1000万人にのぼった。

2010年、中国で大干ばつに見舞われた地域は、主に西南地区や内蒙古中部地区に集中しており、干ばつ被害にあつた土地面積は全国の9割以上を占める。特に西南地区では、半年間という歴史上まれにみる長期に渡る干ばつ被害に見舞われ、被害面積は1億ムー（約670万ヘクタール）に上った。

中国農業科学院研究員の李茂松氏によると、近年来、異常気象が頻繁に発生してきている。「洪水防止・干ばつ対処・

## 水価格の改革

### 節水を促進し低所得者層の負担を軽減する

中国で資源価格の改革が進められるようになるにつれ、水資源を配置・利用する上で水価格をいかにして調節していくのか、という点が人々の関心を集めている。

一号文書は積極的に水価格の改革を推進している。都市部住民の生活用水の価格を合理的に調整し、使用量別加算水価格制度を進めていく。また農業用水価格の総合的な改革を推進し、農民が定額内で水が使える、また水を優遇価格で使用できるようにし、定額超過の用水に対しては累進加算費用徴収制度を実施するなどの方法を模索することが指摘された。

水利部水資源司の責任者によると、今の中国の給水・排水価格は依然として低すぎる。水価格が低すぎると、水資源の希少価値性を反映させるのが難しい状態であるという。一部の地方や業種では、「どれだけ使おうが同じ」という意識があり、水の消耗が激しくとも財政手当を受けることができている。

水価格の改革は低所得者層



大洪水により大きな被害を受けた江西省資溪县高阜鎮初居村（2010年6月20日周科撮影）

の負担を増やすか否か、という点に関して、専門家は次のように考えている。使用量別水価格は比較的理にかなっているが、具体的に実施する際には、低所得者層の許容力を考慮しなければならぬ。水価格の改革は、多くの家庭に関わることであり、周到かつ慎重に進めていかなければならない。

（ソース：新華ネット）

# 経済成長10.3% その意味するのは



.....  
2011年1月20日、国务院新聞弁公室が開いた記者会見で、国家統計局の馬建堂局長は2010年の国民経済状況について説明し、記者の質問に答えた（邢広利撮影）

「新ポイント」に言及。第1は、経済が再上昇から安定かつ急速な発展という正常な軌道へと好転したこと。第2は、内生的成長メカニズムが経済成長をけん引する上で主要な役割を發揮したこと。第3は、輸出が回復して増加したことだ。09年に輸出は16%減少したが、10年は1~12月までに31.3%増加した。

国家情報センター経済予測部の範劍平主任は、スピードであれ効果であれ、10年の経済は極めて突出し、とくに国民経済全体の運営効率から見れば、一定規模以上の工業企業の利益が11月末までに50%以上増えたことで、財政収入も大幅に伸びた。全国の都市・農村部住民の収入は前年よりそれぞれ実質で7.8%、10.9%増加した。

申銀万国証券研究所の桂浩明チーフアナリストは「10年の経済成長はほぼ予想通りであり、前期に比べ、GDPが四半期ごとに減少したことは、経済成長が調整された所期の目標に向かいつつあることを示すものだ」と指摘する。

### ◆構造が反映する問題

だが、経済の急成長と同時に、経済の発展には構造的な問題が依然として存在しており、構造調整と発展方式の転換はやはり任重く道遠しである。

現在の経済成長の構造的な問題に触れた際、範主任は「過去の構造と枠組みは根本的に変わっていない」と強調。

データによれば、10年の社会全体の固定資産投資は前年比で23.8%増加するなど、依然として高位にある。一方、輸出が回復して増加したことも、昨年の経済が高成長を保持した1つの重要な要素である。投資や輸出がけん引する経済成長の枠組みに根本的な変化はない。

「三大需要から見れば、投資率はまだ上昇しており、国民の収入配分について言えば、企業の利潤増と政府の税収増が住民の収入増を明らかに上回っているという局面に大きな変化はない」。範主任はこう述べた上で、価格の比較的速い上昇、あるいはインフレの状況は、往々にして政府の税収と名目収入に非常にプラスであり、企業の名目収入増にもプラスとなるが、一般市民にマイナスだと指摘する。

実際、10年の物価の持続的上昇と流動性の過剰は終始、中国経済の安定的な発展にとって極めて大きな圧力となった。GDPの増加率が10.3%に達すると同時に、10年通年の物価上昇率も3.3%と比較的高い伸び幅となり、再びインフレへの懸念を誘発した。

中国社会科学院数量経済・技術経済研究所の汪同三所長は、「現在は非常に多くの問題に直面しており、最も切実かつ最も現実的なのは、いかにインフレという問題を抑制するかである。広範な市民の生活と直接かわるからだ」と指摘。

「通貨供給と物価指数が反映するの

20日、広く注目されていた2010年のマクロ経済データが公表された。国家統計局のデータによると、10年の中国の国内総生産（GDP）は39兆7983億元。不変価格で計算すると、前年に比べ10.3%の増となり、成長率は1.1ポイント上回った。国際金融危機に対応し、経済の安定かつ急速な発展を保持し、経済発展方式の転換を加速する上でカギとなった1年として、10年の10.3%という経済成長は結局のところ何を意味するのか。段階的な成果を背景に、中国経済はさらにもどのような問題に直面し、どのような挑戦を受け入れなければならないのか。

### ◆数字が明かす成果

「10年に、わが国は国際金融危機によるダメージに対応したその成果を効果的に強固にし、拡大するなど、国民経済運営の状況は総体的に良好だった」。国家統計局の馬建堂局長はこう説明する。中国経済について言えば、10年は極めて非凡だった。国際、国内の複雑かつ多変する経済情勢を前に、構造の調整や方式の転換の過程でいかに経済の安定かつ急速な成長を保持するか、より多くの困難を克服し、より多くの問題を解決しなければならなかった。こうした背景の下で、10.3%という経済成長率が満足できる回答であるのは間違いない。

中国国際経済交流センターの鄭新立常務副理事長は、10年のマクロ経済を評価するに当たり、3つの比較的顕著な

.....  
2010年12月11日に国家統計局が発表したデータによると、11月のCPIは同期比で5.1%上昇し、この28カ月で最高の上がり幅となった。写真は江蘇省海安県のスーパーで商品の値札を取り替える店員（新華社）





# 銀行業界、海外進出を加速

中国の銀行業界の国際化はすでに一種の流れとなっており、各行が海外に進出する過程で直面しなければならない困難はまだ多い。

本誌記者 蘭辛珍

1月19日、中国工商银行ブリュッセル支店のオープニングセレモニーが開かれた。出席したのは、同行の姜建清董事長（左から3人目）、ベルギーのルテルム首相（右から3人目）、中国の張援遠駐ベルギー大使（右から2人目）、宋哲駐EU使節団団長（右）（武巍撮影）



浙江省の海外向け衣料品会社で衣料品を生産する従業員（王小川撮影）

は、依然として存在する比較的大きな調整への圧力であり、政府は経済成長のスピードを安定させる状況の下で、通貨供給とインフレ圧力を抑制し、調整の柔軟性と対処性を増強する必要がある」と、桂アナリストは強調する。

## ◆調整で直面する課題

昨年末に開かれた中国共産党第17期中央委員会第5回全体会議は、第12次5カ年計画の工業経済計画に関する提言で、「経済構造の戦略的調整を経済発展方式の転換を加速するための主要攻撃目標とする」と概括。同様に、昨年末の中

央経済工作会議も、経済発展方式の転換の加速を経済関連の仕事の主軸にするとして再度提起した。  
11年は第12次5カ年計画がスタートする年であり、どのように円滑に始め、円滑に着手するか、つまり経済発展方式の転換に当たっては、円滑に始め、円滑に着手しなければならない。  
鄭副理事長は、経済発展方式の転換で円滑に始めるための重点は、次の5つの面を改めることにあると指摘。経済成長の投資と輸出への過度の依存局面を改める。経済成長の第2次産業への過度の依存局面を改め、第3次産業を大々的に発展させる。経済成長の

物的資源の消耗への過度の依存状況を改め、主に自主革新、管理の改善と労働者の資質の向上を通じて成長を推進し、自主革新能力を高めて革新型の国家を建設する。都市・農村部の発展の格差が徐々に拡大する状態を改め、協調の取れた発展を実現する。国内経済と外国経済との関係上、海外投資を徐々に拡大し、導入主体から導入と進出を共に重視する方向へと転換し、同時に膨大な外貨の備蓄と通貨の備蓄を徐々に資産の備蓄、エネルギー・鉱物の備蓄に変えることである。

「11年は、地方政府がどのように仕事の重心を構造の調整、方式の転換に真に移していくか、研究開発への資金投入を真に拡大するか、人的資本の投入を拡大するかが、政策転換のカギとなる」。国家発展改革委員会マクロ経済研究院の王一鳴常務副院長はこう強調する。

復旦大学経済学院の孫立堅副院長は「11年は第12次5カ年計画に着手する最初の年であり、この1年の発展戦略の仕組み、政策の成果が今後の中国経済の持続可能な発展の運営モデルと運営効率に影響を及ぼすだろう」と指摘。

孫副院長にすれば、中国経済の政府による「輸血型」の経済発展支援方式をできるだけ速く改め、絶えず完備される制度の整備と政府による公共サービスなどの措置を通じて、早急に市場自身による「造血型」の経済発展への活力を生み出すことが、当面の中国経済の構造的なインフレを根本的に解決するカギとなる要素である。

中国工商银行股份有限公司と東亜銀行有限公司は2011年1月23日、東亜銀行の米国子会社の株式売買で合意した後、21日（米国中部時間）にシカゴで協定書に調印したと共同で発表した。

協定書に基づき、工商银行は東亜銀行に約1億4000万ドルを支払って米国子会社の株式の80%を取得し、東亜銀行は残りの20%を保有する。同時に、東亜銀行はプットオプションを有し、本取引完了後に、協定書で取り決めた条項と日付に基づいて残りの株式を工商银行に譲渡する。双方はその後、監督管理機関による申請・認可手続きを行う。取引完了後、工商银行は米国東亜銀行の経営と管理に責任を負うことになる。

米国子会社は、東亜銀行が米国での全額出資した傘下企業East Asia Holding Co. Inc.を通じて01年に米カリフォルニアのGrand National Bankを買収して設立したもので、本店はニューヨークにある。同行は現在、ニューヨークやカリフォルニア州にそれぞれ13の支店を持ち、米国の商業銀行の営業許可証を所有しており、主にリテールやビジネス、貿易・融資といった伝統的な銀行業務を扱っている。10年9月30日時点で、米国子会社の資産総額は7億1700万ドル。

中国工商银行は中国で資産規模最大の商業銀行、時価総額と預金総額、利益で世界第一の銀行でもある。中国国内に約1万6000、海外28カ国・地域に210以上の機関を有している。

工商银行の姜建清董事長は「今回の買収

営規模を拡大するため、買収・合併にますます力を注いでいる。工商银行の対外開拓は、東亜や南アフリカの一部銀行の少量の株式を購入することから始まった。だが、世界の貿易・金融市場でのシェアを拡大するに当たっては、米国が極めて重要な市場となる。工商银行による東亜銀行米国子会社の株式購入は、米国の金融市場参入への1つの突破口と見なしてもいいだろう。

銀行の海外進出を、監視・管理当局は支持する姿勢を示している。新華社によると、中国銀行業監督管理委員会（銀監委）の王兆星副主席はこのほど、国際化のプロセスを加速するため、中国の銀行は支店の新規設置を主体とする国際化の方法に、買収・合併を加えるべきだとの考えを示した。銀監委は今後、互恵と対等の原則を踏まえて、外国の銀行機構に対し開放すると同時に、中国の銀行の海外市場での発展を推進していく方針だ。

◆海外進出は容易ではない

「中国の銀行の海外進出は必然的な流れだが、困難と障害を軽く見てはならない」。興業銀行資金運営センター・チーフエコノミストの魯政委氏はこう指摘する。

魯氏によれば、障害は内部ば



中国銀行のニューヨーク支店。同行は人民元業務をすでに開始、個人・法人は人民元の売買ができるようになった（吳凱翔撮影）

は中国の銀行による米国の商業銀行に対する初めての持ち株権の買収であり、その戦略的意義は際立っている。成功裏に完了すれば、中国の銀行が米国での金融サービス全体のレベルを向上させる上で重要な基盤が築かれるだけでなく、中米両国の金融の対等な開放のレベル、広さと深さをさらに高める上で重要な象徴となり、両国の経済貿易の往来に重要なプラスの影響を及ぼすなど、双方にとって共同の利益を得るための選択でもある」と強調する。

工商银行はこのところ、海外進出の面で次々に行動に出ている。同行は1月17日、パリとブリュッセル、アムステルダム、ミラノ、マドリードの欧州支店5社が同日から正式に営業を行うと発表。

工商银行のほか、中国銀行の海外支店も近い内に正式に営業し、ブリュッセル支店やドイツのフランクフルト支店、ハンブルグ支店などが相次いで開設された。同行の肖鋼董事長は、銀行業界の海外進出はすべくなすべき流れとなっていると指摘する。

◆国際化は大局の赴くところ

中国銀行の李礼輝行長はこう説明する。「金融危機発生後、中国企業の海外進出は明らかに速くなった。アジアやアフリカであれ、北アメリカやオセアニアであれ、いずれも拡張を続ける中国企業がいる。総体的に見れば、中国の銀行は海外進出の過程で、企業の海外市場開拓のために有力な金融支援を行うだけでなく、銀行業務の実質的な発展がもたらされるなど、銀行と企業共同の利益が実現された」

肖董事長によると、中国銀行業界の海外資産は85年には90億ドル余りに過ぎなかったが、09年に2700億ドルに達した。同年末現在、中国銀行業界の海外機関は1200カ所を超え、業務は32カ国・地域をカバーしている。

中国社会科学院金融所金融市場室の曹紅輝主任によると、中国経済の構造転換には、内需の拡大と外部の戦略的分野の開拓、対外直接投資の増加を有機的に結び付けることが切実に求められており、それに加え、人民元が徐々に国際化することが、中国銀行業界の海外進出にとって推進力となる。

曹主任は、ポスト危機の時代は中国の銀行業界が海外進出する好機だと話す。金融機関は国際金融危機で大きなダメージを受けたため、立ち直るには一定の時間が必要だ。グローバル経済が低迷する中、新興市場の経済体は世界経済の回復を引っ張る重要な力となった。そのため曹主任は、条件の整った商業銀行は海外進出の歩みを速めて、国際競争の中で競争能力を高めることが必要だと強調する。

中国の銀行は、海外での拡張に当たり一般に2つの戦略を採用。第1は、支店を設立するか、支店を子会社にするなど、従来の営業網を拡充する。第2は、海外の銀行を買収・合併する。

外国の銀行に比べ、中国銀行業界の国際化の程度は明らかに低く、海外業務の収入の比率も高くない。中国五大銀行の海外業務収入の比率は平均してわずか6%前後、欧米は35%を超えている。

そのため、中国の一部銀行は早急に経

かりでなく、外部からも来る。内部について言えば、カギとなる問題は相応する専門の人材不足、とくに国外の金融文化と法律に精通した人材が少ないこと。次に、まだ利益モデルを見いだせていないことだ。中国銀行を例にすると、同行の海外支店で利益を計上しているところは極めて少ない。外部について言えば、海外金融機構の監督管理の環境が、国内に比べより厳格であり、保護主義という要素も中国の銀行の海外進出戦略を制約している。

建設銀行投資資産運用部門の毛裕民主任は、銀行業界の海外進出は非常に難しいと強調する。同行は93年にニューヨークに駐在事務所を開設、同年に米連邦準備理事会（FRB）に支店設立申請を提出したが、09年5月になってようやく認可が下りた。

李行長は「中国の商業銀行にとって海外業務は依然、制限が非常に多い。海外での店舗設置では主に香港や澳門、またシンガポールといった文化的背景が中国と比較的近い一部の地域に集中しており、ニューヨークやロンドンといった国際金融センターにある機構は非常に小さい。こうした海外機構は業務範囲が狭く、営業規模も小さく、顧客層も非常に少なく、現地での市場への影響力も非常に小さい」と話す。

さらに李行長は「より多くの中国の銀行にとって今、最も重要なのは、海外進出を急ぐことではなく、条件の整備を積極的に進め、国際的な金融の人材を育て、総合管理能力を高めることだ。こうしてこそ、海外進出の必要性に適応できる」と強調する。

# 合併証券業容拡大 証券業界が対外開放加速

——将来の合併、外国資本、中国資本の証券会社が中国の金融市場という同舞台で競争するのは避けられない。

本誌記者 蘭辛珍

中国の合併の証券会社に新たに2社が加わることになった。摩根大通（JPモルガン・チェース）は現在、第一創業証券有限公司と「第一創業摩根大通証券有限责任公司」を合併設立するための具体的作業を進めている。摩根士丹利（モルガン・スタンレー）も華鑫証券との「摩根士丹利華鑫証券有限责任公司」合併設立に向けて具体的準備作業に取り掛かった。この合併会社2社は昨年12月31日に中国証券監督管理委員会（証監委）の認可を取得。今年第2四半期に正式に営業を開始する。第一創業摩根大通証券有限责任公司は本店を北京、摩根士丹利華鑫証券有限责任公司は上海に置く。2社ともに外資の持ち株比率は上限の最高である33%。

さらに昨年の11月、ロイヤルバンク・オブ・スコットランド（RBS）が国聯証券と合併で証券会社を設立。証監委によるこの3カ月間の認可は3社を数え、01年に世界貿易機関（WTO）に加盟し証券市場を開放して以来、合併の証券会社は10社に達した。上記3社のほか、シテイグループと中原証券、マッコーリー・グループと恒泰証券な

どの合併計画も進行中。また香港上海や恒生、東亜などの外資銀行も中国で協力パートナーを探して合併証券会社を設立する考えを表明している。中国での合併設立は速まりつつある。



北京にある華鑫証券公司（CFP）

外資の証券会社が中国進出を加速したのは、中国の証券市場の高成長を考慮してのことだ。プライスウォーターハウスクーパースの報告によれば、10年にA株を発行して上場した企業は349社にのぼり、世界のIPO市場を先導するなど、調達資金総額は4783億元と、過去最高を更新して世界第1位だ。中国はすでに世界で最も重要な融資市場の1つとなっている。外資との合作が、中国の中小証券会社の夢。中国では証券会社は100社を超える。証監委の資料によれば、09年、華鑫証券は引受金75億元で全証券会社の中で第30位、第一創業証券は同67億5000万元で第33位。モルガン・スタンレーとJPモルガン・チェースの支援を受け、両社の業務は高成長が見込まれる。

## 曲折をへた後の開放

中国の証券市場は90年に開設され、まだ20年しかたっていない。95年設立の中国国際金融有限公司は中国初めての合併の証券会社。外資は米国のモルガン・スタンレーや香港の名力グループなどで、同社は国内上場企業の株式引受資格を取得している。

だが、中国証券市場の外資への開放は01年のWTO加盟後のことで、この新タイプの市場を保護するため、外資に対しては協力の形で中国証券市場に進出することしか許可せず、また「外資の出資による証券会社設立に関する規則」を制定し、外資の持ち株は33%を超えてはならないと規定した。合併会社は国内企業のIPOと外国株の取次業務は扱えるが、国内A株の取次業務とデリバティブ商品業務に従事することはできない。

この政策は02年7月から実施。同年12月19日、WTO加盟後初の合併証券会社、華欧国際証券有限责任公司の設立が証監委から正式に認可された。同社は湘財証券とフランスのカリヨン証券（CLSA）との合併で、登録地は上海、出資比率は湘財証券が67%、カリヨン証券が33%。

華欧国際設立後、長江巴黎百富勤、海際大和など合併の設立が相次いだ。この間、国内証券会社も数多く設立された。一部の企業で顧客の取引決済資金や証券を勝手に流用したり、違法な資産運用を行ったりするなどの問題が頻発し、投資家と市場に極めて大きなリスクがもたらされた。そのため証監委は、04年から証券会社に対する全面的な指導作業に着手、合併証券会社の審査・認可も暫定停止となった。

07年8月に作業は終了。同年5月に行われた中米の第2回戦略・経済対話の期間中、中国政府は外資証券会社の中国市場への参入禁止令を下半期に取消すとともに、合併を含む証券会社の営業許可証を再発行することに同意。さらに、第3回戦略・経済対話の開催前に、外資が取次業務や自営業、ファンド管理など、中国での業務分野をさらに拡大することを許可した。

07年12月末、第3回戦略・経済対話の成果の1つとして、証監委は修正した「外資の出資による証券会社設立に関する規則」と新たに制定した「証券会社の子会社設立に関する試行規定」を公布するとともに、08年1月1日から正式に施行し、合併証券会社の審査・認可も再び開始した。だがスピードは遅く、3年間に認可されたのは、瑞信方正と中徳証券の2社のみ。

海通証券研究所の陳崢嶸・研究員は「中国の証券市場の国際化は積極的かつ安定して進んでおり、対外開放度も徐々に拡大している。当面の状況から見ると、市場の国際化はすでに中国の証券市場にプラスの影響をもたらしている」と指摘。

「だが、証券業界の対外開放は、秩序よく漸進する原則に従うべきだ」。陳研究員は「中国の証券市場はまだ初期の成熟段階にある。国際化のプロセスは国内市場の発展と整備を促し、また国内金融の安全と安定を維持するものでなければならない」と強調する。

## 将来、競争は拡大へ

開放されて間もないせいか、中国の合併証券会社の発展は極めて不安定だ。10年の

IPOの引受状況から見ても、合併は国内企業に太刀打ちできないでいる。

昨年、349社の企業が実施したIPOでは、Wind情報データによれば、証券会社58社が取得した引受保証料は170億元。うち、合併6社が引受けたIPOはわずか20社で、保証料は13億9300万元、全体の8.1%にすぎない。合併は中金公司を除き、いずれも中国証券ベスト10社にも入っていない。

昨年、国内では証券会社が次々と台頭。ベスト9社が引受けたIPOは計181社ののぼり、引受率は50%超、保証料の割合は54%を占めた。市場アナリストは、合併証券グループ低迷の主因は内部の建て直しが不明瞭であり、合併双方の管理に関する意見の相違も比較的多く、しかも設立間もないことから優位に立っていないことにあると指摘。また、業務範囲が単一なため、投資銀行業務の開拓が制限されているという。

だが、これは合併証券会社の競争力が脆弱であることを意味するものではない。過去を振り返れば、合併投資銀行の展望は無制限だった。中国の株式相場が急騰した07年、中金公司や瑞銀証券、高盛高華はそれぞれ引受保証料で第1、第3、第6位を占めている。いずれも中国石油や中国太保、中国中铁など大型国有企業の株式初発行に参与。中金公司は09年も第1位を保持した。

現在、外資の金融機構の大半が、合併の証券会社を中国証券市場に進出するための窓口と見なしている。発展の初期には相互理解と経験蓄積が主体となるが、将来の国際市場は熾烈な戦場となるだろう。

# 「タイガーマザー」論争 どんな母親が優れているのか？

よその家に泊まってはいけない、友達と遊ぶ約束をしてはいけない、学校の劇に参加してはいけない、テレビを見たりゲーム機で遊んだりしてはいけない、学校のクラブ活動を自分で選んではいけない、成績はA以外ダメ、ピアノかバイオリンを習わないといけない……



毎年夏になると全国でアマチュア向けの音楽等級試験が行われる。寧夏銀川市では2006年、15年前の20倍となる6000人余りが試験を受けた。写真は試験前も電子ピアノの練習に励む子供たち（王思維撮影）

『ウォールストリート・ジャーナル』は先ごろ、「なぜ中国人の母親は優れているのか」と題した記事の中で、中国系でエール大学法学部教授のエイミー・チュア氏が1月に出版した新著『戦うタイガーマザーへの賛歌』の一部を掲載した。「放任」教育に賛成する多くの西洋人にとってその内容は「道理にあわないことこの上ない」ものであり、たちまちネット上で4000件余りの読者コメントが寄せられ、東西の育児方法についての激しい議論が起った。

「子供にとって何が最もよいことなのか？」は、親にとって永遠の話題である。東西の教育方法をめぐると大論争も北米から世界へと広がっていった。

ある読者はエイミー・チュア氏のやり方は児童虐待で、アジア人に「創造力がない」のはまさにこうした育児方法の結果だとまで言っている。また、エイミー・チュア氏が著書で東洋の厳格な教育を肯定し西洋の「放任」教育をけなしたことが、多くの人の反発を引き起こした。米国の多くの親たちが公の場で「これは挑発だ」と述べている。

しかし米国の親の中にも、西洋人はこうした厳格な管理教育方法を参考にすべきで、子女の教育をロマンチックにしすぎたはいけないと考え、自分も「タイガーマザー・タイガーマザー」だと明かす人は多い。

では、厳格と放任のどちらがより優秀な子供を育てることができるのか？本場に東洋の教育方法はアジアの子供たちに創造力が欠けている主要原因なのだろうか？西洋

米国の教育は、小学校から大学まで、教師が書物上の理論を教えるだけでなく、生徒（学生）の理論と実際とを結びつける力と創造的思考を非常に重視する。たとえば物理の授業で放物線運動について教える場合、教師は生徒に自分で放物装置を作ることを要求し、生徒は自分の想像力を存分に發揮して設計や製作を行うことができる。こうすれば、生徒の思考と創造力を鍛えられる上に、実行力も鍛えることができる。

米国の社会は子供が小さいころから多くの機会を提供し、将来の職業を理解させるようにしている。たとえば年に一度、親は子供を自分の勤務先見学に連れて行き、親やその同僚の仕事を子供に体験させることができる。米国の有名大学の多くには毎年1〜2日の開放日があり、子供たちは年齢を問わず誰でも大学を見学して、科学技術の研究開発、進展、就職の見通しについて知ることができる。米国の学校には、中学校から生徒に将来の就職に関する情報を提供しているところが多い。大学は学生を採用する際、成績のほかにも課外活動やボランティア活動、組織・指導能力などを十分に考慮する。このようにして育成された学生は、勉強だけでなく各方面で高い資質を持った総合的な人材なのである。

## 「タイガーマザー」をモンス ター視してはならない

範先佐（華中師範大学教育學院教授）

「タイガーマザー」は子供につらい思いをさせ、厳格に要求し、自分を律すること

の「放任」は本当に理想化されすぎているのか？結局のところどちらの教育方法のほうが優れているのだろうか？

**米国式教育は、小学は楽、中高は大変、大学はさらに大変**  
潘忠礼（米国カリフォルニア州立大学教授）

米国全体の教育体系について言うと、小学校は楽だが、中高は大変、大学はさらに大変になるという特徴がある。この体系だと、子供は年齢が小さい時に子供らしい天真爛漫な時間を十分に味わうことができず、中学生になると、子供たちは事物に対してすでに一定の認識ができ、同時に身体的にも精神的にも大きなプレッシャーと責任を受け止める力が備わるようになり、勉強の負担もそれに伴って増していく。このような体系は子供の心理的特徴や生理的特徴に合致していると同時に、あまりに早い時期から重い負担を背負ったため勉強に飽きてしまうことも避けられる。

米国式教育のもう一つの特徴は、表彰と激励を通じて子供が自分に対して十分な自信を持てるようにすることに反映されている。こうした教育方法は子供の潜在能力の發揮、学習意欲の向上、コミュニケーション能力の向上に役立っている。米国のウォール街のレポートによると、米国の世界トップ500企業ほとんどが、求人の際、求人する仕事の内容と学生の専門が合っている状況であれば、コミュニケーション能力をより重視するという。

を教え、将来の人生に対して責任を持てるようにする。最終的に利益を受けるのは子供と社会であるべきだ。

世の中のすべての知識、能力、品性は苦しい試練を経て初めて得られるもので、怠け者や意志の弱い者、機を見て甘い汁を吸う者、ちゃらんぼらん日に日々を過ごしている人は卓越とは無縁だ。子供は成長の過程で誉めてもらえるべきであると同時に、挫折や失敗も経験し、自分で苦労し奮闘することで強くなっていくようにしなければならない。一人の人間の心と知恵の成長にとって、これは欠かすことができない。その意味では、タイガーマザーの教育方法に全くいいところがないというわけではない。

厳格であること自体は人格教育でもある。子供がよいことを覚えるのは難しいが、悪いことを覚えるのは簡単だ。子供に対する高い基準や厳格な要求がなく、寛容すぎ、ひいては放任して好き勝手にさせておけば、子供が才能ある人になるのは難しいだろう。もちろん、世の中に自分の子供を愛さない親はいない。子供からの意見や要求に対して、親はよく耳を傾け、正当なものであれば適切にそれに応え、理にかなっていないと思えば、同意しない理由を子供に説明するだけでなく、子供に対してきっぱりとダメだと言えなければならぬ。

成長する過程で、子供には親の助けと厳格な要求が必要だ。これは親が果たすべき義務でもあるが、何でも代わりにやってしまうというのはいけない。代わりにやってしまうと、子供に大人への依存が生まれ、

自立して自ら努力し向上する意識が弱まってしまう。

何でも代行してはいけませんが、放任して構わないというのも親としての責任を果たしていない。子供の道徳や品行の面では、親自身が自分に対して厳格に要求し子供のよき手本となる一方で、向上心がない、意志薄弱、わがままで自己中心的、横暴や依存といった好ましくない傾向に対しては、できるだけ早く発見し、断固としてこれを正す必要がある。

こうした意味では、「タイガーマザー」の厳格な家庭教育方法は子供の将来の発展にとって有益だ。「タイガーマザー」の家庭教育方法をモンスター視してはならない。

### 親には人生の道を選ぶ知恵が必要

羅非（中国科学院心理研究所心理健康重点实验室研究员）

家庭の厳格な教育の出発点は、子供が本来の意味での人生の知恵を得られるようにすることであるはずだ。それを目的としているものであれば、国ごとや人ごとに方法は違っても、どれも情理にかなっている。この目的に背くものであれば、ロマンチックで情熱にあふれる方法も、厳しく監督する方法も、どちらも道理にかなっていない。

したがって、親が自ら人生の道を選ぶ知恵を持っていることが求められる。これが親たるものの第一の基本条件である。

# 潘魯生氏 手工芸による 民族文化の伝承

本誌記者 陳姉

「手工芸農村——山東省農村文化産業調査研究成果展」が1月9～18日、北京の中国美術館で行われた。この展覧会は同プロジェクトの主事者で山東省文学芸術界联合会（文聯）主席・山東工芸美術学院の院長である潘魯生教授がこれまで従事してきた民芸学研究与フィールド調査に基づい



中国美術館で取材を受ける 潘魯生教授（陳姉撮影）

プロフィール  
1962年生まれ。山東省荷沢曹県出身。芸術学博士、教授。中国美術家協会理事、中国民間文芸家協会理事、国家非物质文化遗产保護工作専門委員会委員。

て展開されており、農村手工芸の現状と農村文化産業の発展への関心を高めることを目指している。濰坊楊家埠の凧や年画、荷沢甄城の手織り木綿、荷沢巨野の密画、臨沂・臨沭の柳細工などの展示物はすべて農民が手作りしたものである。

この30年の間に、潘魯生氏は相前後して285の伝統的手工芸の村を調査し、1000人余りの民間手工芸の職人を取材し、121の伝統的手工芸を記録し、1000万文字の文字資料を整理し、中国「手工芸学」という学科の創立を提起した。

成果展の会場において、同プロジェクトの意義と農村文化産業の発展などの問題について、北京週報は潘魯生教授に独占インタビューした。

潘魯生氏へのインタビューの内容は次の通り。

——「手工芸農村」プロジェクトの主事者として、この成果展が中国美術館で行われる意義について、どうお考えでしょうか。

「手工芸農村」は中国美術館の新年初



2009年7月18日、浙江省2009年青少年音楽等級試験が杭州で行われ、200人以上の子どもたちが試験を受けた。写真は杭州浙江大風芸術学校で試験前の練習をする子供のために楽譜を持ってやる保護者（施健学撮影）

る。単純に勉強の成績だけで子供が優秀かどうかを決めるのは、偏ったやり方だ。優秀にもいろいろある。何か一つ優れた才能があるのも、個性と創造力にあふれているのも、どれもすばらしいことだ。

子供は環境の中で成長する。環境には、親、教師、友人が含まれる。子供の自信、創造力、勉強に対する興味は、環境の影響によって作られる。人には誰でも多かれ少なかれ偏りがある。最良の教育とは、偏りや欠点を是正し、子供がバランスよく成長し、本来の意味での高い資質が備わるようにしてやることである。子供のピュアな関心や興味を大事にすることは、環境が最も子供に与えてやるべきサポートだ。もし親が子供自身の興味を傷つけず、打ち砕かず、教師や友人が子供の興味を伸ばしてやることができれば、子供の興味は自然と深い観察へと発展し、そこから知恵が生まれるだろう。

教育にはこうでなければいけないという定見はないし、またあるべきではない。子供に対して、親は知恵を働かせ、放任すべき時は放任し、厳しくすべき時は厳しくすることが必要なのである。（ソース：『環球』誌）



山東省臨沂市の王夫敬さん（40）。柳の編み手芸を披露（石剛撮影）

の大規模展覧会として、2つの重要な意味を持っていきます。第1に、この5年来の調査チームの山東省における文化産業に対する調査研究の成果を展示します。第2に、社会各分野に山東省の農民の手工芸を紹介します。伝統的手工芸が依然として民間で広く伝わっており、現代の生活でもなお重要であることを人々に理解してもらうので

私たちのプロジェクトは十分な調査研究を行ってきました。これほど多くの手工芸職人の創造した価値と社会的意味は広く認知されるべきです。

——潘教授は農民手工芸の発展に関して、地域資源優位性の発揮による手工芸支柱産業の発展、伝統的手工芸資源の発揮による現代生活スタイル革新、手工芸産業チェーンの整備による手工芸ブランド戦略の実施など、8項目の提案を出しました。これらの提案の出発点について紹介していただけませんか。

提案は主に政府、学界、大学の3つの面から出しました。まず、非物質文化遺産（無形文化財）の種を保護し、それが新たな時代で発展していけるようにする。これもこの展覧会を催した初志です。

それ以外に、手工芸はある程度の規模をもつ産業であるため、それに応じていくつかのブランドの支持が必要です。このようなブランドの育成は学界、教育界、設計界が共に進めることが必要です。これによって、手工芸産業と農民の創造した財産はさらに大きな価値を得ることができそうです。

また、私たちは文化伝承の問題も打ち出しました。政府の非物質文化遺産保護の下、文化産業が民族文化に溶け込む必要のある時代に、手工芸産業はプラスの役割を發揮すべきです。これについて、経済学者、社会学者、デザイナー及び政府が共同で取り組む必要があります。

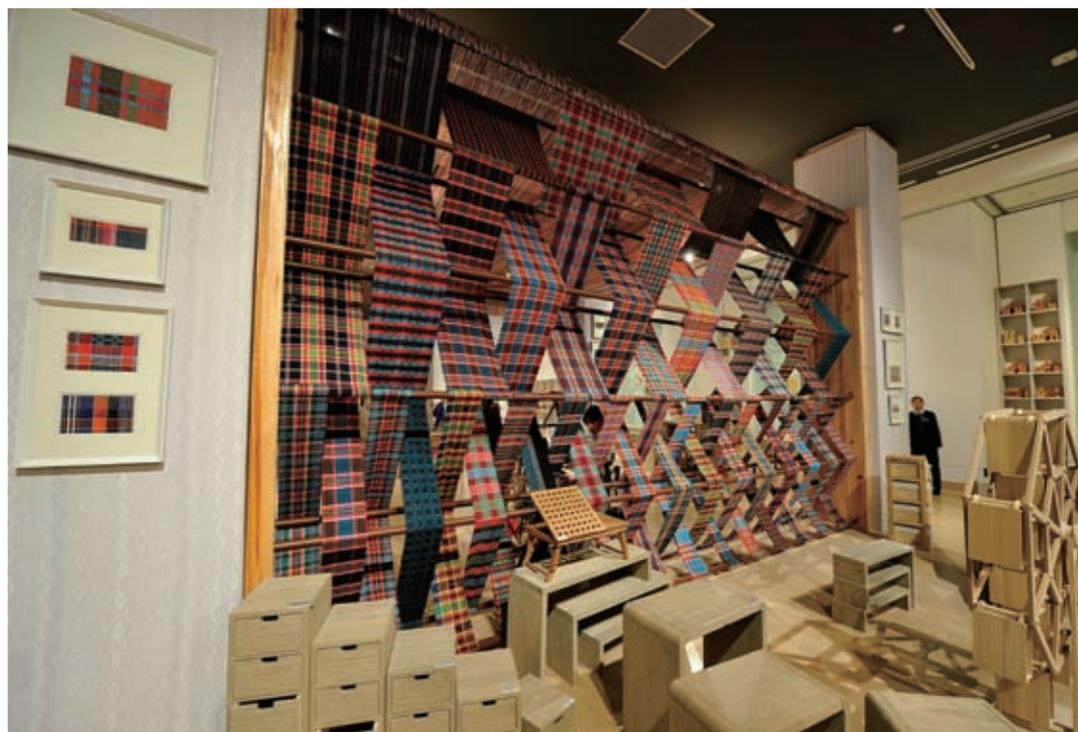


山東省曹県蔡益勝さん製作の桐の木版画を見る人たち（石剛撮影）

まだ中国文化产业のレベルまで引き上げられて重視されていないと指摘しました。農村手工芸の話になると、多くの人々が経済的効果について話しますが、民間手工芸の深い社会的・文化的意義を軽視し、手工芸が農民たちを安定させ、小さくは家庭のむつまじさ、大きくは5千年文化の伝承に至るまで非常にプラスの役割を果たしたことを考えたことはありません。

山東省は農業が盛んな省であり、手工

山東省甄城の民間に伝わる手織り綿布（石剛撮影）



——30年に渡って民間芸術の研究を支えてきたものは何でしょうか。調査研究の中でもっとも印象深いことは何でしょうか。

以前、民間芸術の研究は専門的な趣味でした。民間の伝統的手工芸は滅び行く芸術であり、それについてはなすすべもないという感じがありました。しかし多くの専門家・学者が、伝統的手工芸の職人に十分な関心を払い、伝統的手工芸を滅びさせないことを呼びかけました。そうした呼びかけを続けてきた今、私は希望があると思うようになりました。手工芸はすでに現代の生活と分かちがたく結びついています。全社会的な民間手工芸への重視を呼びかけ、農民手工芸職人の作品の文化的価値と意味を理解してもらう必要があります。私は調査チームにとっても感謝しています。全員が

芸産業従事者が150万人になり、年収が1000億元に達します。これは農村の文化建設と社会の安全・安定、ひいては文化の建設・発展を支える上で重要な意味を持っています。

——潘教授は2004年に「手工芸学」という学科の創立を打ち出しましたが、それはどんな意義を持っていますか。

「手工芸学」を打ち出したのは主に理論の面でこの学科の研究と確立を加速し、それを中国特有の学科システムにすることを望んでいることです。手工芸は中国の伝統的文化において軽視されてきました。「手工芸学」確立の提起は非常に重要ですが、これを完全なものにするには、まだ非常に長い道を歩く必要があります。

手工芸は社会や文化の継続に大きな役割を果たしており、「手工芸学」の創立は民族の創造力の源を認識することにプラスとなっています。

「手工芸学」の研究は技術・形態の研究に重点を置き、職人と手工芸の文化的価値を研究します。現在、中国の文化芸術はとても繁栄していますが、それはエンターテインメント産業だけに限られています。文化の深層に着目し、経済の高速成長の時期において、どのように健全な農村文化を育成するのか、どのように文化的精神・形態・方法を有効に探り出し、現代社会の発展に適應するのか、これは非常に大きな課題です。

非常に仕事熱心であり、大学教授から一般の大学生まで、調査研究の初期には数10人も参加しました。毎日農村へ調査研究に行き、夜は農家に泊まり、条件が厳しかった時期もありました。

現在、農村手工芸はすでに大きな産業になっており、文化产业の重要な構成部分です。私たちは「農村文化产业」の概念を打ち出し、手工芸品は文化的製品であるが、

——プロジェクト研究の中で、潘教授は外国の研究方法を参考したことがありますが、このプロジェクトは現代社会にどんな示唆を与えていますか。

これらの手工芸は海外の先進国では非常に希少なものであり、すでに文化遺産の保護対象になりました。中国の農村、特に私たちの調査研究した臨沂、荷沢、濰坊における手工芸の村では、豊かな民衆的基礎と産業的基礎がすでに形成されています。新石器時代から現在まで、原始社会の彩陶や黒色陶器、織りものなど5千年にわたる手工芸文明は途絶えることなく現在まで伝わってきたのだと言えます。

中国は絵画や書道、漢字など、非常に輝かしい文人文化、宗教文化、伝統文化を持っています。しかし、これらのものを伝承する基本的な方法は手工芸であり、木版画や活版印刷や陶磁器などもすべて手作業で作られたものです。中国の文明的な成果はすべて手工芸によって伝承されてきたものであると言えます、その手工芸を押し広める必要があります。

手工芸は中華民族の創造力の非常に重要な源です。もしこれを徹底的に研究し、一般大衆の間に普及させ、小中学生に手工芸を習わせ、大学生がこれに好きになり、後代の人々がこれを伝承していくようにすれば、その意義は「手工芸学」確立自体の意義を遥かに超えるでしょう。

# Days and Nights in Shanghai



上海今昔 一日見て歩き

多言語DVDで解説する上海百年の歴史

新視点で歩く上海24時

上海の魅力を60分に凝縮

中国国際出版グループ 製作

新世界出版社 出版発行

北京週報社 撮影制作

注文先: (8610)68994980 68994118

(8610)13001192201

<http://www.pekinshuho.com>

上海の  
昼と夜

## 文化の「空白」現象を考える

馮驥才



潘家園骨董市場で毛筆を選ぶ外国人女性  
(新華社)

古い町並みの改造は多くの都市を同じようにし、ますます多くの都市が独特の趣をなくし、鉄筋コンクリートという近代的な息吹に包まれるようになった。古い村が姿を消し、民間芸人が少なくなり、民間文化が伝わらなくなり、次第に、文化を伝承する物質的な媒体は人びとの目から消え去るだろう。

先ず、消え去る文化はわれわれにある都市である。よく知られる事実は、われわれの660の都市が改造のスローガンの下、すでにまったく同じように変わってしまったことであり、千の都市に1つ面、だが、残念に思う人はいない。文化のいま1つの喪失は、古い村が消え去ったことだ。現在の村は、西塘や南潯、周莊、同里、烏鎮などいわゆる江南の6つの鎮が比較的良好に保護されているのを除けば、そのほかはほぼ消失してしまった。

世界には歴史の古い国が数多くあり、イタリアやオーストリア、スイスに行けば、詩のように美しい古い村を発見する。では、われわれは？西遞や宏村など、われわれの今の古い村はすでに世界文化遺産に指定されており、入って見れば、ほぼ新しいものばかりだ。かれらは新しいものが

好きなのではなく、ただ古いものを売ればより多くの金を稼ぐことができるからである。こうした古い村はほぼ骨董業者にすっかりあさられてしまった。北京の潘家園を観察して10数年になるが、後に私は「潘家園から中国伝統文化の流失を見る」を発表した。最も早く彼らが売りに出したのは、家庭の貴重品、さらに壁上の書画、家具、部屋にある文房具を売るようになり、最後に売ったのは？牛の足、柱、そして家もすっかりなくなつた。現在残されているこうした場所を、私は「文化の空白」と呼んだ。

われわれ中華民族の歴史に「空白」の現象が現われたことは、痛惜のことである。私はよく思うのだが、後世はきつとわれわれを無知だと罵倒するだろう。文化の転換期にわれわれがしたことは、欧州人に遥かに及ばないからだ。中国はまだ比較的貧しく、先ずはお腹の問題を解決し、豊かになつたら文化、精神面の問題を考える、という見方がある。だが、いつになつたら文化を考えることができるのか。国が豊かになるのは、もちろん良いことだが、われわれの国、われわれの民族はどこまで豊かになつたら、「一息」と見なすのか、われわれの生命を育む文化と結びつくのか。われわれの1つの世代、次ぎの世代が交流できるのは、共通の文化があるからであり、われわれの文化は単なる言語ではなく、単なるわれわれが用いる語彙でもなく、同じ表情、同じ方法で非常にたやすく交流することができる。われわれには一種の反応があり、この種の反応は共通の文化が育てたものだからである。



### *Beijing Review*

China's National English News Weekly

*Beijing Review* is China's only national news magazine in English. Launched in March 1958, *Beijing Review* reports and comments on the country's social, political, economic and cultural affairs, policy changes and latest developments. It also offers in-depth analysis on major regional and international events, and provides consulting and information services.

Zinio Digital Price: \$1.20

Save 29% off the Cover Price: \$1.70

52 Issues for \$32.00

Save 49% off the Cover Price: \$62.40

Website: [zinio.bjreview.com](http://zinio.bjreview.com)

